

「木のストロー」による林福連携プロジェクト

木のストロー



元大工の「カナ社長」が率い、木造注文住宅を手掛けるアキュラホーム。「環境貢献企業」であることを掲げる同社は、既にお馴染みの方もいらっしゃると思いますが、カナ削りの「木のストロー」の普及に取り組んでいます。

このストローは、平成30年7月豪雨の被害をきっかけに、間伐材の活用により持続的な森林保全に貢献するとともに、海洋プラスチック問題解決の一助となることを目指して開発されました。昨年11月には、横浜市が保有する水源林の間伐材を原材料として、市内の障がい者が製作した「木のストロー」を、店舗・飲食店等で提供する新たなプロジェクトを開始しています。

この取組は、森林保全や環境課題の解決に加えて、障がい者の雇用機会、働きがいの創出、木材の地産地消の推進といった点で、SDGsが目指す、経済、社会、環境の課題の統合的な解決につながるものとして期待されています。